

2013年12月期 第2四半期決算
前年同期比較

ロイヤルホールディングス株式会社

（証券コード:8179）

URL　http://www.royal-holdings.co.jp/

2013年7月31日

目次



		頁
□	2013年12月期第２四半期決算　連結業績	・・・　２
□	セグメント別　売上高・経常利益	・・・　４
□	2013年12月期　連結業績予想	・・・　９
□	注意事項	・・・　11

1．第2四半期決算　連結損益計算書

ROYAL

景気回復と消費マインド改善の兆しを背景に増収増益

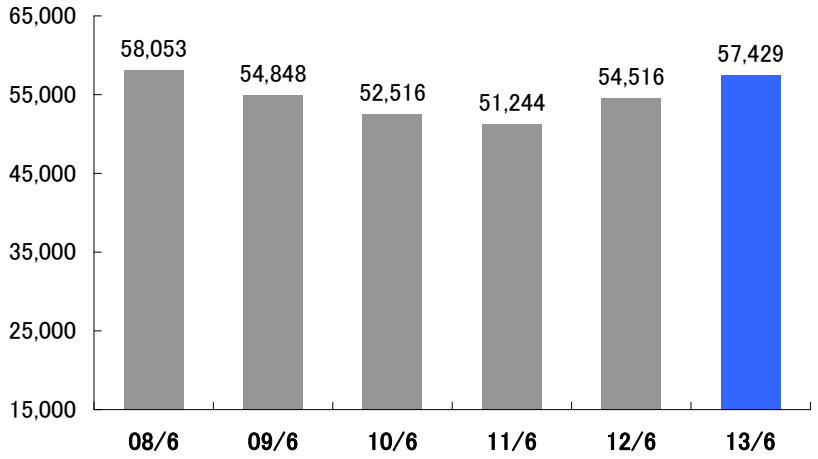
（単位：百万円）	2012年 第2四半期	2013年 第2四半期	前期比	前期増減
売 上 高	54,516	57,429	105.3%	+2,913
営業総利益	37,725	39,380	104.4%	+ 1,655
販売費及び一般管理費	37,133	38,194	102.9%	+ 1,061
営業利益	592	1,185	200.2%	+ 593
経常利益	745	1,346	180.7%	+ 601
四半期純利益	245	594	242.6%	+ 349

2. 第2四半期決算　連結業績推移

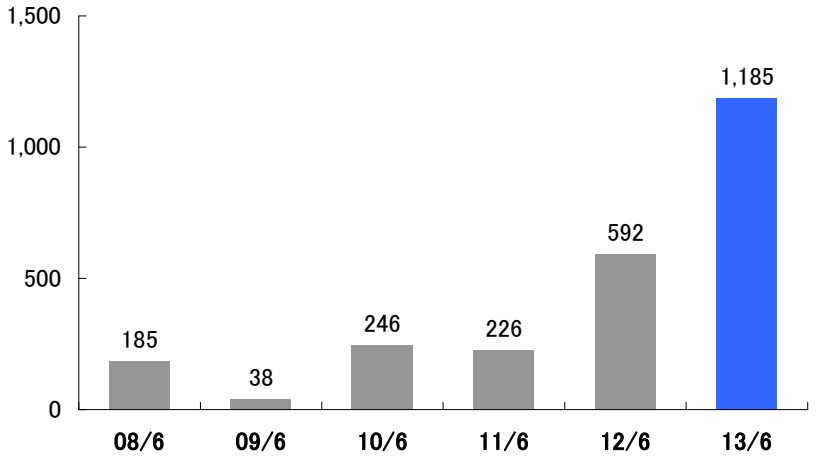
ROYAL

売上高は2期連続の増収、営業利益・経常利益・四半期純利益は
2期連続の増益で過去5年平均を大幅に上回る水準

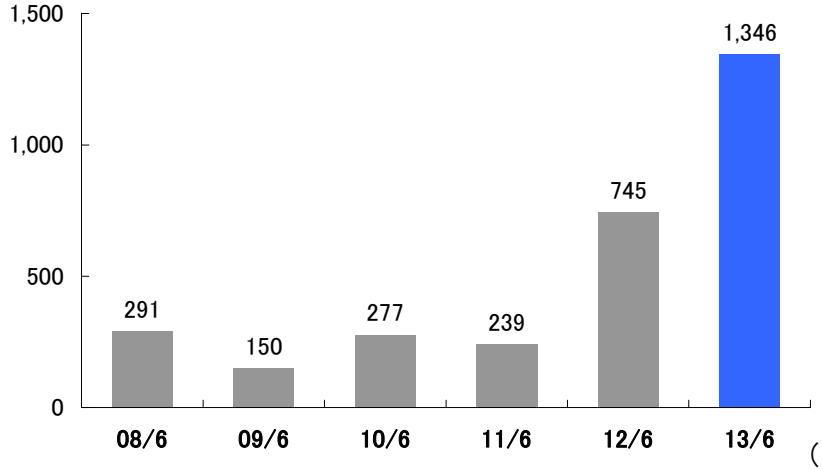
売 上 高



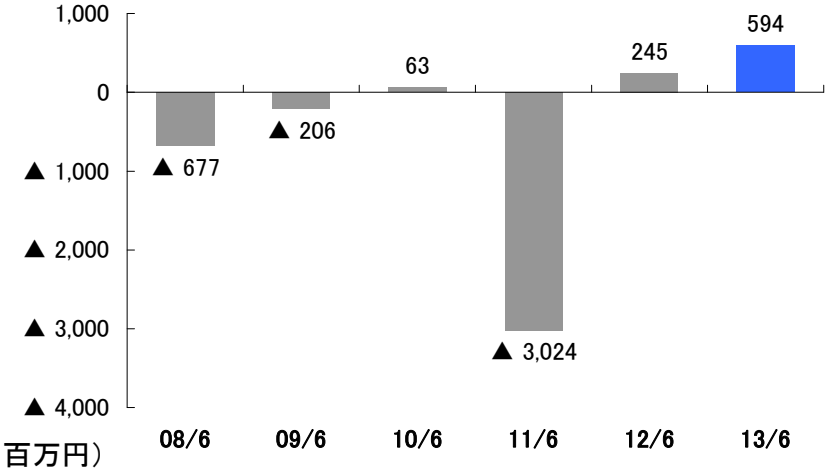
営業利益



経常利益



四半期純利益



（単位：百万円）

3. セグメント別　売上高・経常利益

ROYAL

売上高は既存店の好調に加え新店等の貢献もあり全体的に増収、
経常利益は機内食事業が落ち込むも外食事業とホテル事業により増益

※売上高は内部売上含む　　【単位：百万円】

実績	2012年第2四半期		2013年第2四半期		前年同期比較	
	売 上 高（占有%）	経常利益	売 上 高（占有%）	経常利益	売 上 高	経常利益
外食事業	27,189（49.9）	687	29,005（50.5）	1,298	＋ 1,816	＋ 611
コントラクト事業	13,984（25.7）	428	14,581（25.4）	414	＋ 596	▲ 14
機内食事業	3,614（ 6.6）	721	3,842（ 6.7）	406	＋ 228	▲ 315
ホテル事業	8,131（14.9）	255	8,504（14.8）	585	＋ 372	＋ 330
その他	1,596（ 2.9）	▲ 1,348	1,495（ 2.6）	▲ 1,359	▲ 100	▲ 10
合計	54,516（100.0）	745	57,429（100.0）	1,346	＋ 2,913	＋ 601

4. 外食事業

ROYAL

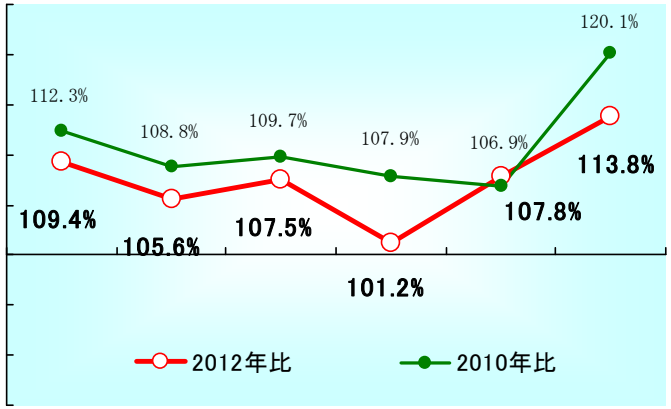
既存店が好調、来客数増加と客単価上昇により売上・利益増
昨年からの新店・業態転換も増収に貢献

※売上高は内部売上含む　　【単位：百万円】

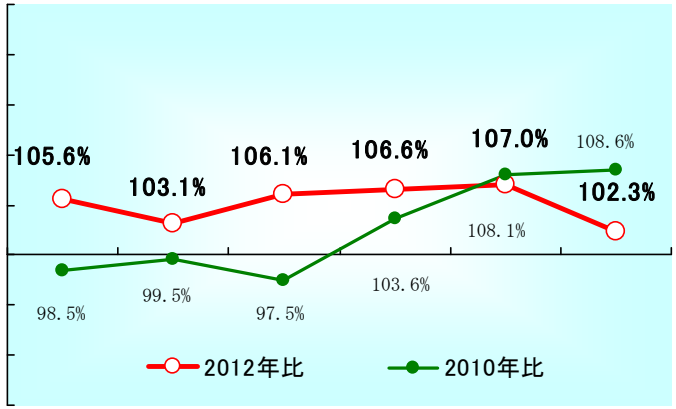
【外食事業】	売上高	経常利益	備考
2012年第2四半期	27,189	687	
ロイヤルホスト事業	＋ 1,291	＋ 447	既存売上前年比107.5%、今期開店+1・閉店▲1
てんや事業	＋ 312	＋ 19	既存店の客数増と新店効果（12年2店、13年5店）
専門店等	＋ 213	＋ 145	シズラー・シェーキーズ・専門店　好調持続
2013年第2四半期	29,005	1,298	

※　既存店売上前年比　推移

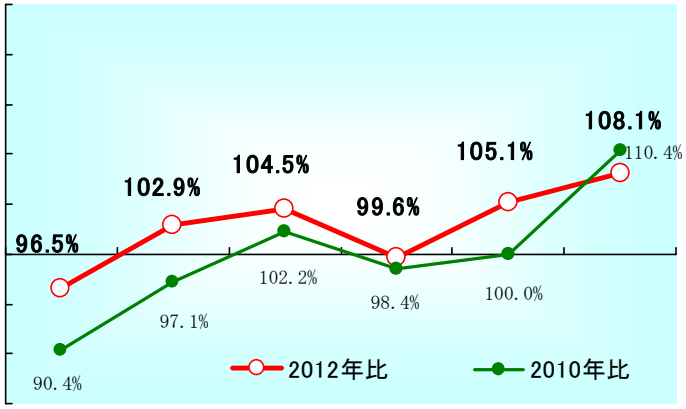
【ロイヤルホスト】



【てんや】



【専門店等】



5. コントラクト事業

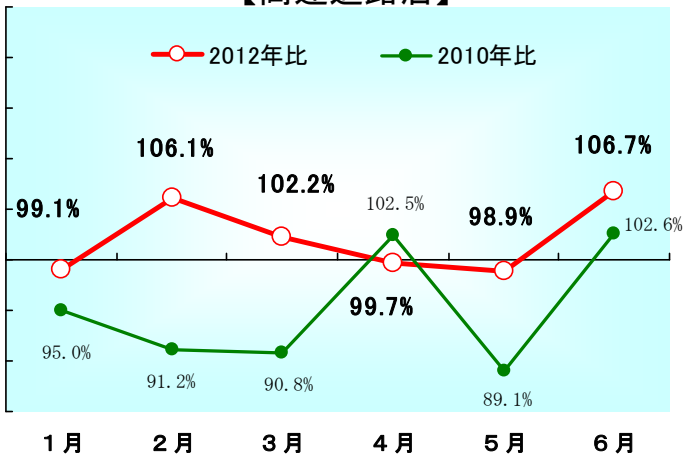
新規出店と空港ターミナル店他の堅調な推移により増収
新規出店に係る費用増等により減益

※売上高は内部売上含む　　【単位：百万円】

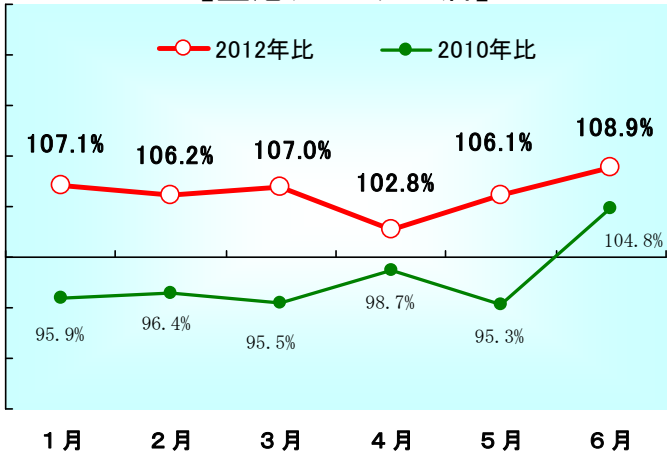
【コントラクト事業】	売上高	経常利益	備考
2012年第2四半期	13,984	428	
高速道路店	＋ 109	▲ 15	既存店は売上回復、新店と改装により減益
空港ターミナル店	＋ 146	＋ 80	国内外の利用客増により好調持続
事業所・百貨店内等	＋ 342	▲ 80	4月以降既存前年比上昇、減益は今期新店費用
2013年第2四半期	14,581	414	

※　既存店売上前年比　推移

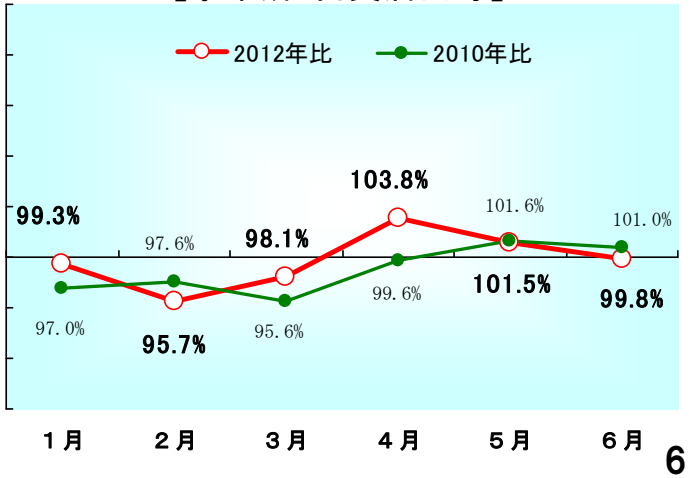
【高速道路店】



【空港ターミナル店】



【事業所・百貨店内等】



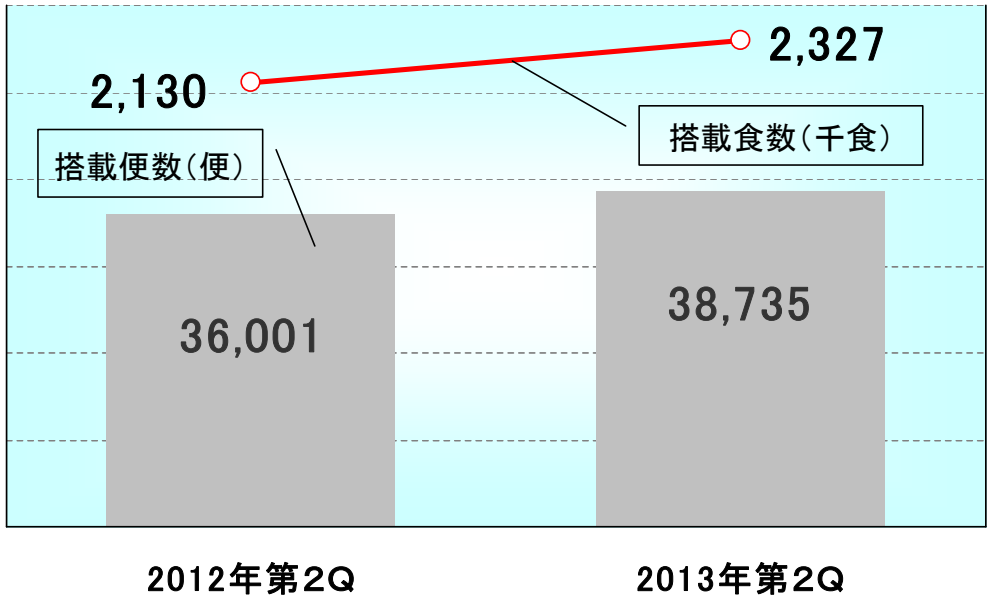
6. 機内食事業

新規路線の獲得等により増収となるも、既存路線の契約内容見直しと
新規獲得路線に係る費用増により減益

※売上高は内部売上含む　　【単位：百万円】

【機内食事業】	売上高	経常利益	備考
2012年第2四半期	3,614	721	
変動分	＋ 228	▲ 315	新規獲得路線への対応準備に係る費用増等
2013年第2四半期	3,842	406	

搭載便数・食数　前年比較





2012年度QSAI世界一



香港ドラゴン航空2012年度金賞

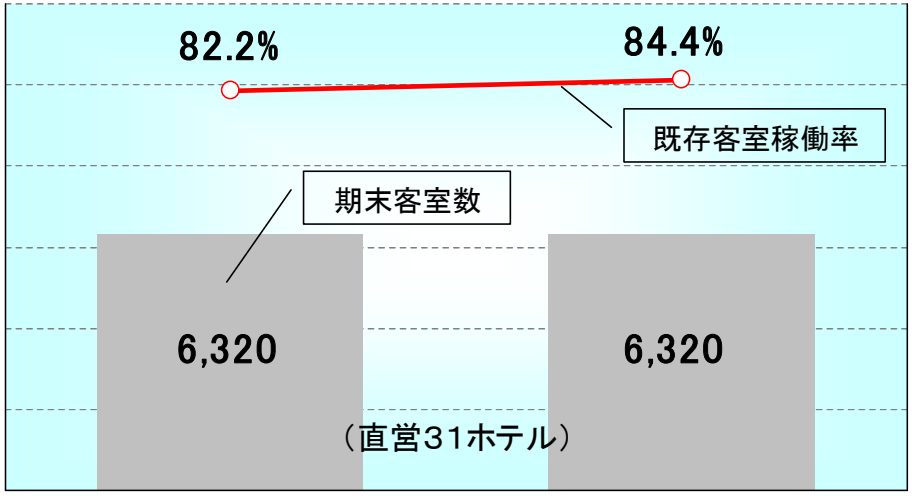
7. ホテル事業

客室稼働率が好調持続、改修による4ホテルの一部休業を含めて既存店が増収増益、前期3月開業のリッチモンドホテル浅草も貢献

※売上高は内部売上含む　　【単位：百万円】

【ホテル事業】	売上高	経常利益	備考
2012年第2四半期	8,131	255	
新規開業効果	＋ 142	＋ 104	浅草（12年3月24日）、水戸（13年5月1日 運営支援）
既存店・間接　増減	＋ 230	＋ 227	客室稼働率が全国的に好調な推移
2013年第2四半期	8,504	585	

期末客室数・既存客室稼働率　前年比較



※稼働率は2012年以降開業を除く直営合計、　客室数はレイアウト変更含む

未使用の朝食券を特製フルーツケーキ（グループ内製）に交換するサービスを開始



8. 2013年通期予想 ／ 下半期の前提

事業環境	緩やかな景気回復の下、売上高は堅調に推移すると予想するも、来期の消費税増税を睨んだ各種施策の前倒し実施が喫緊の課題
外食事業	【ロイヤルホスト】既存店前年比100%超の維持に注力、価値のある商品の提供と既存店の改装と厨房機器入替を継続 【てんや】既存店改装を継続、直営・FCの出店加速 【専門店】新業態における早期の事業化（多店舗化と黒字化）
コントラクト事業	【高速道路店】新店の黒字化と新規拠点の獲得 【空港ﾀｰﾐﾅﾙ店】国内の利用者と海外からの渡航者増に対応 【事業所、百貨店】既存店のアップデートと出店領域の選択と集中
機内食事業	新規路線の獲得に取り組む一方、収支バランスの改善に努める
ホテル事業	経年ホテルへの再投資を順次実施し、顧客満足度を維持向上

8. 2013年通期予想 ／ 連結業績予想

ROYAL

【売　上　高】　既存店の売上伸長と新店・業態転換により増収
【営業・経常利益】　主に外食事業とホテル事業の既存店増収により増益
【当期純利益】　特別利益・特別損失共に前期並みと予想

【億円】

	2012年12月期 実績	2013年12月期 予想	増減率
売 上 高	1,149.5	1,170.0	＋ 1.8%
営業利益	26.2	33.0	＋ 25.8%
経常利益	28.2	35.0	＋ 24.2%
当期純利益	11.3	14.0	＋ 23.1%

EBITDA	76	85	＋ 9
ROA	3.6%	4.3%	＋ 0.7p

EBITDA＝経常利益＋減価償却費＋のれん償却額＋支払利息（ネット）
R　O　A＝経常利益÷総資産（平均）×100

注意事項

- 本資料に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。
- 本資料に記載している当期（四半期）純利益については、当期（四半期）純損失の場合に▲で表示しております。
- 本資料に記載している12月期については、対象年の連結累計期間として表示しております。
- 本資料に記載している2013年通期の予想値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関する問い合わせ先　：
ロイヤルホールディングス株式会社　財務企画部IR室
電話：03-5707-8873　宮川